

子ども読書活動推進計画 令和3年度進捗状況・令和4年度目標値一覧

資料1

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和3年度 目標値	実績(R4.3月末)	達成率 (R4.3月末現在)	令和4年度 目標値/当初目標値		
1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進	家庭や地域での子どもの読書活動の推進	1		乳幼児期からの読書活動の支援	乳幼児期に初めて本と出会うきっかけをつくるため、赤ちゃんと保護者が絵本を通して触れ合う「ブックスタート」などの事業を行います。	ブックスタートパック配付人数(年間)	360人	301人	84%	350人/500人	
		2	○	家庭読書の支援	家庭での読書の機会を増やすため、年齢に応じた本の情報を提供し、本に親しみやすくします。	年齢別ブックリスト作成	幼児向け作成(4歳、5歳)	作成中	95%	幼児向け作成(5歳、6歳)/5種(これまでに4種完成)	
		3		地域の読書活動の支援	ボランティアが地域での活動の際に必要な本をボランティア団体へ貸出し、地域の読書活動を支援します。	ボランティア団体への団体貸出(年間)	50冊	765冊	1530%	520冊/520冊	
	中央図書館(家庭・地域)における子どもの読書活動の推進	1			良質な図書の収集	専門的視点で司書が選定した良質な図書の収集を継続します。	中央図書館の小学生までの貸出冊数(年間)	80,000冊	142,848冊	179%	140,000冊/150,000冊
		2	○		声かけレファレンス	本をさがしている子ども(保護者含む)に司書から主体的に声をかけ、児童書のレファレンスサービスを強化します。	学校連携司書が中央図書館で実施するレファレンス件数(年間)	30件	43件	143%	45件/380件
		3			中央図書館がより身近な存在となる事業の企画	子どもたちの関心やニーズに合わせた本のテーマ展示や飾り付けなどの雰囲気作りをすることで、本への興味を促し、中央図書館がより身近な存在となるように努めます。	テーマ展示回数(年間)	15回	15回	100%	16回/18回
		4			図書ボランティアとの協働	読み聞かせや本の修理などの図書ボランティアを募集・育成・増員し、連携します。	ボランティア登録者数(年間)	88人	89人	101%	92人/100人
		5			児童書の魅力を保護者へ伝えるための企画を実施	おはなし会の開催日数を増やし、図書館講座を始めとしたイベント等を企画します。	イベント等の実施回数(年間)	10回	7回	70%	43回/83回
	児童館(地域)などにおける子どもの読書活動の推進	1			中央図書館からの図書貸出	中央図書館から児童館に団体貸出(児童館)をすることで、良質な本を提供し、読書のきっかけづくりをします。団体貸出未実施の長久手西児童館、長久手市青少年児童センターへの提供を開始します。	児童館への団体貸出(児童館)(全6館)	全6館の継続	実施済	100%	全6館の継続/6館
		2	○		ボランティアによる読み聞かせ	読み聞かせに適した絵本を提供し、ボランティアによる児童館での読み聞かせをする体制を整えます。	児童館での読み聞かせをした館(全6館)	コロナ対策をふまえたボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。	協議実施	100%	コロナ対策をふまえたボランティア育成の方法、しくみについて担当課と協議する。/6館
	保育園・幼稚園(地域)における子どもの読書活動の推進	1	○		保護者などに読書活動の大切さを周知	家庭における乳幼児期からの読み聞かせの意義を保護者を始めとする大人が理解し、親子で絵本に親しむため、園児対象の年齢別のブックリストを配置します。	園児対象のブックリスト配置(全19園)	1園で各1冊 幼児向け(4歳、5歳)リストを配布	作成中	95%	1園で各1冊 幼児向け(5歳、6歳)リストを配布/19園
		2	○		読書と遊びを結びつけた取組	園での読み聞かせに、カルタなどのことば遊びの要素を入れた取り組みを充実させ、ふれ合いの中で楽しい体験ができるように支援します。また、中央図書館からの団体貸出によって、読み聞かせに適した絵本を増やします。	園職員へ選書のためのレファレンス実施(全19園)	3園	3園	100%	3園/7園
	学校における子どもの読書活動の推進	1			学校連携司書の派遣	中央図書館から小中学校へ学校連携司書を派遣し、司書教諭と協働して学校図書館を活性化させ、利用を促します。学校連携司書の「1校につき1人の配置」を目指します。	学校連携司書の配置人数	1人増員の予算要求事務	R3年度予算要求済	100%	1人増員の予算要求事務/9人
		2			学校連携司書が教職員と連携し、調べ学習のための本を中央図書館の蔵書から選定し提供することで、子どもの学習と教職員の授業を支援します。	年間の調べ学習用等の貸出冊数(小学校)	900冊	893冊	99%	450冊/3,000冊	
						年間の調べ学習用等の貸出冊数(中学校)	80冊	21冊	26%	40冊/200冊	
		3			学校連携司書が、読み聞かせやブックトークなどで、読書の楽しさを伝えます。また、子どもの読書相談に応じ、興味や関心のある本を紹介します。さらに、学校のボランティアと協力し、朝読書や読み聞かせを実施し、学校図書館の貸出冊数の増加を図ります。	年間の学校図書館の貸出冊数(小学校)	100,000冊	128,497冊	128%	130,000冊/160,000冊	
						年間の学校図書館の貸出冊数(中学校)	6,000冊	9,377冊	156%	9,300冊/9,300冊	
		4			学校連携司書による企画展示	学校連携司書が、学校図書館でテーマ展示などの企画展示をすることで、読書への興味を高めるきっかけづくりをします。	1校あたりの年間のテーマ展示回数(小学校) 1校あたりの年間のテーマ展示回数(中学校)	小学校6回 中学校3回	18回 5回	300% 167%	小学校6回/6回 中学校3回/3回

基本目標1 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進の達成割合 R4.3月末現在 目標達成・・・ 93%

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和3年度 目標値	実績(R4.3月末)	達成率 (R4.3月末現在)	令和4年度 目標値/当初目標値	
2 子どもの読書環境の整備・充実 (本の見やすさ、対象別に強化)	1 中央図書館のサービスの充実	1 子どもの発達段階に応じた読書環境づくり		対象年齢に応じた本の整備を図り、子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる棚や、くつろいだ雰囲気空間づくりをするため、児童書コーナー全体を定期的に点検、調整します。	中央図書館の児童書コーナーの点検・調整(年間)	5回	5回	100%	6回/半年に1回	
		2 中高生向けの図書の充実、読書環境づくり		中高生向けの本を収集し、この世代用に特化した書棚をつくります。	中高生向け専用棚の図書貸出冊数(年間)	3,400冊	6,272冊	184%	6,300冊/7,000冊	
		3 ホームページを通じた情報発信	○	ホームページで、本の紹介を始め、各種イベントの開催などの情報提供に努めます。また、子ども向けページの充実を図ります。	年齢別の推薦紹介ページの開設	幼児向け作成(4歳、5歳)	作成中	95%	幼児向け作成(5歳、6歳)/5種(これまでに4種完成)	
		4 障がいのある子どもへのサービス	○	点字絵本やさわる絵本などを収集し、障がいを持つ子どもや保護者へ提供します。	障がい児向け図書の提供	130冊	144冊	111%	145冊/50冊	
		5 中央図書館からやや離れた地区に住む子どもたちへの読書環境づくり		中央図書館からやや離れた地区に住む子どもの読書環境を向上させるために、団体貸出の拠点数を増やします。	中央図書館から団体貸出する拠点の数	13か所	12か所	92%	13か所/20か所	
	2 児童館の読書環境の整備・充実	1 児童館利用者への本の紹介	○	児童館に来館する子どもから保護者までを対象に、おすすめ本のブックリストなどを作成し、情報提供します。	年齢別ブックリストの配置	幼児向け作成(4歳、5歳)	作成中	95%	幼児向け作成(5歳、6歳)/4種(これまでに4種完成)	
		2 児童館図書室の環境整備		児童館図書室の本の配置やレイアウトの調整、新規に購入する本や除籍本の選定に中央図書館が協力します。また、司書が選定した本を中央図書館から団体貸出(児童館)をすることで、図書室の魅力を高めます。	本の配置などの点検・調整(年間)	全6館年1回の継続	実施済	100%	全6館年1回の継続	
	3 保育園・幼稚園の読書環境の整備・充実	1 園内の図書コーナーの整備	○	園の図書コーナーを充実するため、年齢に応じたおすすめ本のブックリストの提供や読み聞かせに適した絵本や地域の民話などを中央図書館から紹介します。司書が図書コーナーづくりや絵本の選定に関するアドバイスをすることで、園の職員を支援します。	選書の意見交換と支援の年間実施園数(全7園)	3園	3園	100%	3園/7園	
		2 団体貸出登録		中央図書館の団体貸出カードを発行し、全ての園で活用するように周知し団体貸出を促します。	市内全ての園の団体登録数(全19園)	11園	11園	100%	12園/19園	
	4 学校図書館と中央図書館の連携体制の強化・充実	1 学校図書館の環境整備		学校図書館の本の配置やレイアウトの調整、本の選定に中央図書館が協力し、環境整備を図ることで、学校図書館が子どもにとって魅力的な居場所となるよう雰囲気づくりを支援、アドバイスします。	学校図書館へ週4回訪問する学校数(小学校6校) 学校図書館へ週4回訪問する学校数(中学校3校)	1人増員の予算要求事務	R3年度予算要求済	100%	1人増員の予算要求事務/小学校6校週4回、中学校3校週4回訪問	
		2 中央図書館資料の学校への提供		中央図書館から学級文庫用として団体貸出(学校)をする冊数を増やすことで、良質な本を子どもの身近な場所へ提供し、子どもの読書環境を充実させます。	団体貸出(学校)の冊数(年間)	7,500冊	8,170冊	109%	7,500冊/7,500冊	
		3 学校連携司書による中央図書館の行事企画		学校連携司書が中央図書館で読み聞かせやブックトークなどのイベントを継続して開催することで、保護者を含めた幅広い年齢層へ読書の楽しさを伝えます。	中央図書館でのイベント参加者数(年間)	90人	49人	54%	80人/160人	
		4 学校図書館と中央図書館の情報共有	○	学校連携司書が学校現場での実践を活かし、中央図書館利用者へ向けにおすすめの本をホームページで紹介し、学校と中央図書館の司書が互いに本の情報を共有し、選書などに役立てます。	学校連携司書が薦める本をホームページで紹介する冊数(年間)	16冊	12冊	75%	20冊/20冊	
	基本目標2 子どもの読書環境の整備・充実(本の見やすさ、対象別に強化)の達成割合 R4. 3月末現在 目標達成・・・ 93%									

基本目標	重点施策	取組	新規取組	内容	指標	令和3年度 目標値	実績(R4.3月末)	達成率 (R4.3月末現在)	令和4年度 目標値/当初目標値	
3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める)	1 普及活動の充実	1 読書手帳の普及		読書履歴を残すことで、楽しみながら読書意欲を高めるため、読書手帳の普及に努めます。	読書手帳の窓口配布数(年間)	200枚	300枚	150%	300枚/300枚	
					読書手帳の完了スタンプ数(年間)	100個	110個	110%	110個/70個	
		2 「子ども読書の日」などの普及		「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」などに合わせて読書に関するイベントや企画展示を開催し、参加者増加を目指します。	「子ども読書の日」いちにちおはなし会参加者数(年間)	40人	48人	120%	50人/200人	
					3 保護者への周知	○	中央図書館を始めとした各施設での読書活動の取組事例を保護者へ広く周知し、子どもの読書の機会を増やします。	中央図書館のホームページで各施設で行われている読書活動を紹介	6件	5件
	4 各施設で読み聞かせイベントなどの実施		中央図書館内外での読み聞かせイベントなどを通し、読書の大切さを広めるよう広報に努めます。	おはなし会などの読み聞かせイベント参加者数(年間)	320人	122人	38%	430人/4,400人		
				2 各種情報の収集・提供	1	図書情報などの収集・提供	○	子どもの読書活動に関連するニュースを提供することで、子どもの読書活動を幅広く推進します。	閲覧室等へ随時、子ども読書に関わる情報を掲示する件数(年間)	4件
	3 優れた取組の紹介	1	図書ボランティアなどの活動を紹介	○	図書ボランティアなどの活動を紹介、奨励することで図書ボランティア活動の活性化、生きがいづくりにつなげます。	中央図書館のホームページで図書ボランティアの活動状況を掲載	4種の掲載を継続	実施済	100%	4種の掲載を継続/4種

基本目標3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及(広く周知し、興味を集める。)の達成割合 R4. 3月末現在 目標達成・・・ 89%

令和3年度子ども読書活動推進計画 達成度合計 目標達成・・・ 92%

令和3年度利用状況

(R3. 4. 1～R4. 3. 31)

【貸出基準】

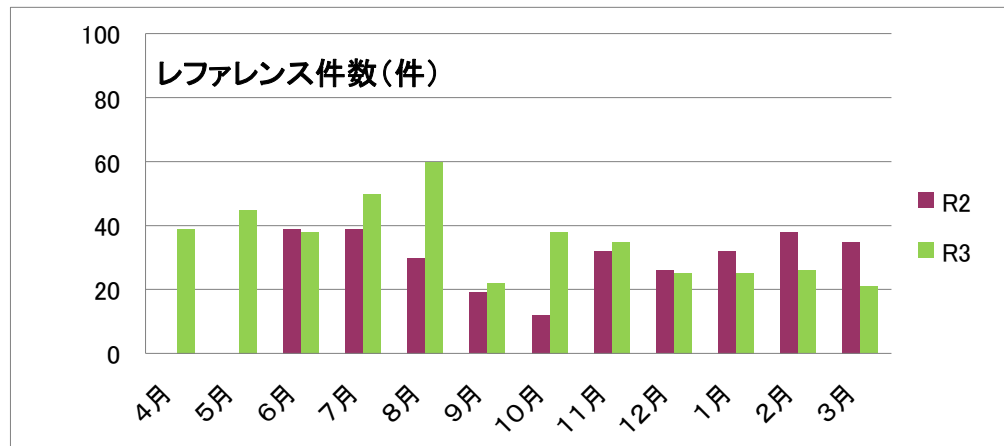
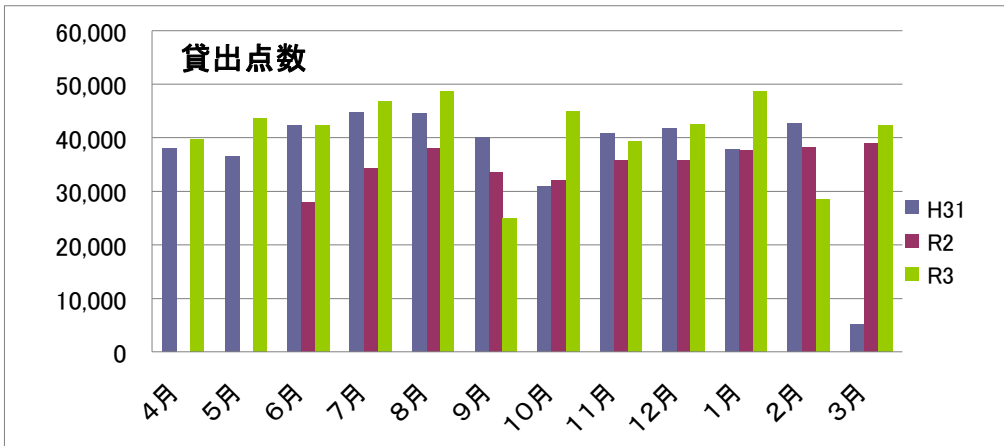
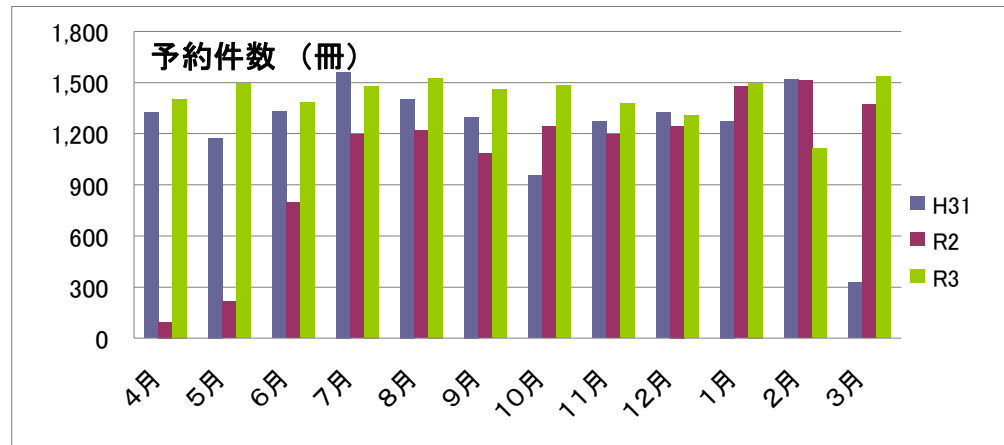
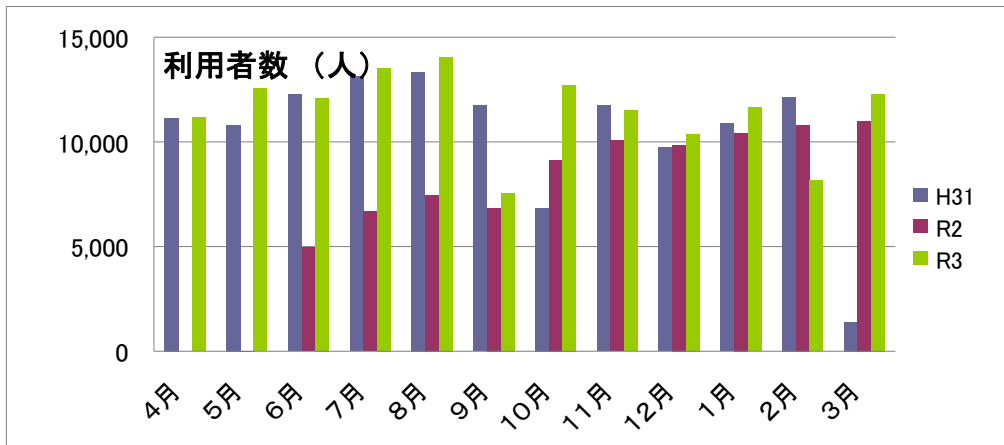
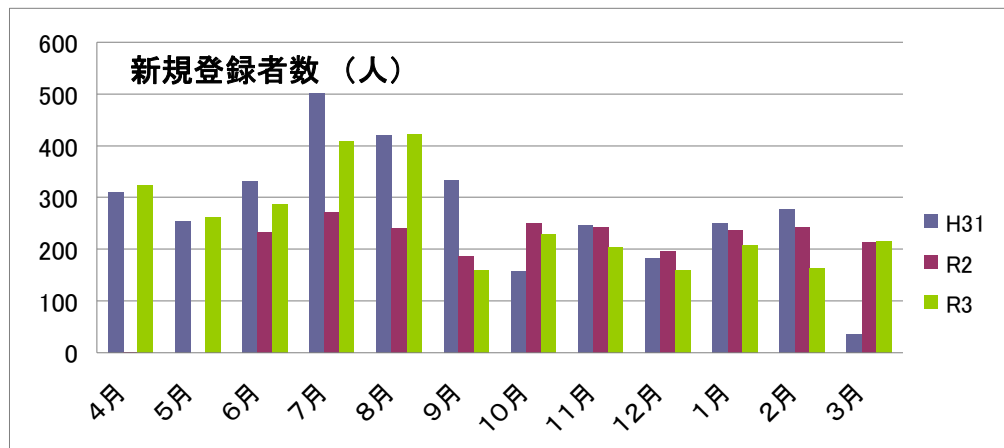
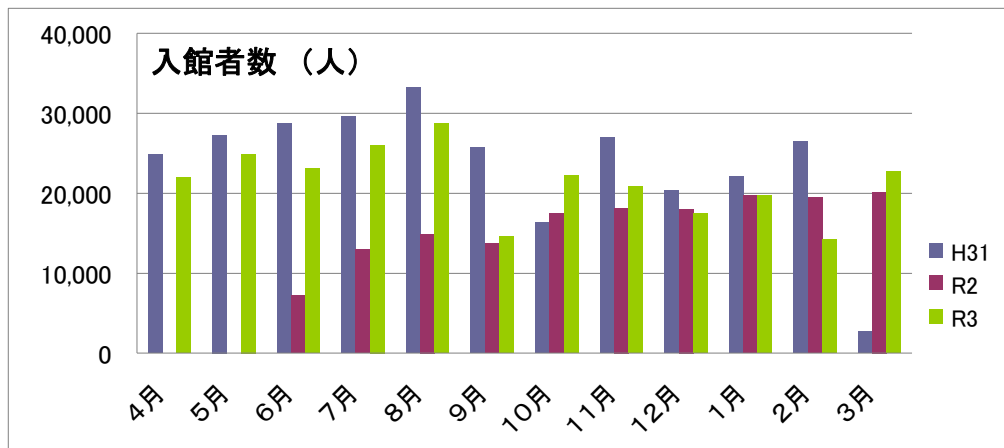
対象：市内在住、在学、在勤、在園者及び名古屋市名東区、名古屋市守山区、瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊田市在住者

点数：図書・雑誌・紙芝居 あわせて5点まで2週間 視聴覚資料2点まで1週間

【説明】

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間AVブースの利用は中止している。
- ・国の緊急事態宣言の延長を受け、9月16日から9月30日まで臨時休館としたが、予約本などの貸出を実施した。その他新型コロナウイルス感染拡大防止対応については、資料1のとおり。
- ・R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため2か月（4、5月）臨時休館を実施し、R3年度の方が開館日数が多いため、R3年度の実績は全体的に増加している。
- ・一日平均を前年度と比較すると入館者数及び貸出利用者数が共に30%以上増加しており、図書館へ来館する方の人数の回復が顕著に現れている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	R3年度		R2年度		増減率
														一日平均	合計	一日平均		
開館日数	25	25	25	26	26	25	26	24	23	22	16	27	290		243			
蔵書購入冊数	1,148	403	598	651	473	1,051	517	630	774	671	555	124	7,595		9,382			
入館者数	21,959	24,887	23,050	26,055	28,701	14,644	22,243	20,854	17,451	19,768	14,214	22,740	256,566	884.7	161,819	665.9	33%	
うち5時以降入館者数	1,225	372	463	1,181	1,368	0	1,159	1,086	988	1,102	0	432	9,376	32.3	4,012	16.5	96%	
貸出利用者数	11,149	12,542	12,093	13,522	14,050	7,566	12,712	11,496	10,354	11,634	8,160	12,269	137,547	474.3	87,191	358.8	32%	
貸出点数	図書資料	37,389	40,969	39,646	44,263	46,035	23,405	42,232	36,962	39,913	45,846	26,834	39,725	463,219	1,597.3	332,447	1,368.1	17%
	視聴覚資料	408	519	516	465	519	273	458	409	421	453	285	493	5,219	18.0	2,182	9.0	100%
	紙芝居	332	436	371	427	392	204	388	404	390	482	233	403	4,462	15.4	3,334	13.7	12%
	雑誌	1,630	1,739	1,712	1,685	1,696	1,030	1,891	1,637	1,747	1,891	1,077	1,623	19,358	66.8	14,516	59.7	12%
	合計	39,759	43,663	42,245	46,840	48,642	24,912	44,969	39,412	42,471	48,672	28,429	42,244	492,258	1,697.4	352,479	1,450.5	17%
新規登録者数	324	262	287	409	423	159	229	203	159	207	163	216	3,041	10.5	2,312	9.5	10%	
予約件数(個人)	1,405	1,494	1,384	1,480	1,528	1,460	1,482	1,377	1,308	1,498	1,113	1,536	17,065	58.8	12,647	52.0	13%	
AVブース	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0		
AVルーム	3	14	11	8	4	0	11	12	7	2	4	11	87		0			
ギャラリー	0	0	0	2	3	0	14	6	0	0	0	4	29		31			
レファレンス	39	45	38	50	60	22	38	35	25	25	26	21	424	1.5	302	1.2	18%	



令和 4 年度事業概要

1 事業実施のための計画の位置づけ

(1) 第 6 次総合計画

基本目標 2 子どもが元気に育つまち

政策 3 子どもの健やかな成長を支える環境の整備

施策(1) 子どもが主体的に学ぶ機会の創出

・子ども読書活動推進事業

基本目標 5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪

政策 1 まちの資源を生かした市民同士の交流の促進

施策(1) 歴史の次世代への継承

・地域資料収集事業

(2) 教育振興基本計画

基本目標 V 生涯を通じた学びの機会提供と支援の充実

基本施策(8) 子どもの読書活動の推進

基本施策(9) 魅力ある図書館づくり

(3) 子ども読書活動推進計画

基本目標 I 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進

基本目標 II 子どもの読書環境の整備・充実

基本目標 III 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

2 事業概要

(1) 会議

ア 図書館運営協議会 年 2 回（5 月、2 月予定）

イ 学校司書職員連携会議 年 1 回（7 月）

ウ めりーらいん会議（図書館連携による健康支援事業）年 3 回予定
連携館：愛知医科大学医学情報センター（主催）、瀬戸市立図書館、
尾張旭市立図書館、日進市立図書館、長久手市中央図書館

※R 2、R 3 年度は未開催

(2) 図書業務

ア 図書資料、地域資料、逐次刊行物、視聴覚資料等の収集、整理、保存、貸出

イ 蔵書管理

図書の選書、発注、受入、蔵書データの整備など

ウ 利用者サービス

児童・中高生・障がい者向けサービス、レファレンス（資料照会応談）、本の予約・リクエストなど

- エ 団体貸出
放課後子ども教室・児童クラブ・保育園・幼稚園などへの貸出
- オ 館内企画展示
自館企画、他課とのコラボレーション企画による特設コーナー

(3) 資料収集計画

- ア 図書 約 7,200 冊を収集予定
参考：令和 3 年度図書購入予算 1,760 万円（視聴覚資料費を含む）
 - (ア) 中央図書館蔵書用

一般書	4,500 冊
児童書	2,150 冊
参考図書	80 冊
郷土資料	40 冊
紙芝居	30 組
中高生向図書	100 冊
計	6,900 冊
 - (イ) 学校連携及び児童館連携用

団体連携本（主に児童書）	300 冊
--------------	-------
- イ 視聴覚資料

DVD	10 点
C D	10 点
計	20 点
- ウ 雑誌 107 誌
※平成 25 年度から雑誌スポンサー制度を導入
令和 4 年 2 月現在 11 事業者、20 誌
- エ 新聞 12 紙

(4) 子ども読書活動推進計画

- ア 第 2 次長久手市子ども読書活動推進計画
(対象年度：平成 30 年度から令和 4 年度まで)
【主要な取組】
 - (ア) ブックスタート事業
 - (イ) 中央図書館の読書環境づくり
 - (ウ) 児童館連携事業
 - (エ) 学校連携事業
 - (オ) 保育園・幼稚園の読書環境づくり
- イ 第 3 次長久手市子ども読書活動推進計画策定
(対象年度：令和 5 年度から 5 年間で予定)
令和 4 年度中に策定委員会を立ち上げ、策定完了予定。

(5) 行事

ア おはなし会（図書ボランティア等による）	年80回程度 (感染対策を行い、実施中)
イ 児童書企画イベント	年1回
ウ 講座	年1回

(6) 図書ボランティアとの連携

ア 絵本などの読み聞かせ	38人
イ 図書資料の修理	19人
ウ 図書資料の返却、書架整理	34人
エ その他	8人

合計 99人

(7) 見学・職場体験・実習生

※相手方との調整の上、実施または延期・中止

ア 小学校図書館見学	各校年1回（3年生）
イ 中学生の職場体験	各校年1回（2年生）
ウ 大学生司書課程図書館実習	年1回
エ 教職員研修	不定期

(8) 広報

ア 利用案内、図書館カレンダー等の作成、配布
イ 新刊リストの発行、ホームページへの掲載
ウ 小学生向け（学年別）・幼児向け（5～6歳児）推薦書リストの発行
エ 市及び図書館ホームページへの掲載
オ 市広報紙への掲載

(9) 指定管理者制度導入事務

ア サウンディング型市場調査
イ 条例改正

(10) 感染症対策事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を随時実施する。

(11) その他

ア 学級文庫入替（学校連携事業）	3月
イ 蔵書点検	2月

長久手市中央図書館開館 30 周年記念行事（報告）

1 目的

令和 4 年 6 月で、中央図書館は開館 30 周年を迎えたため、年間を通じて記念行事を行う。

2 実施内容

(1) 手作りしおり配布

6 月 2 日（木）から約 300 枚を 1 階カウンターで配布。1 週間で終了。

(2) 「長久手市中央図書館の歩み」パネル展示

ギャラリーで実施予定。時期検討中。

(3) 折り紙教室

子ども向け折り紙教室を、AV ルームで 8 月中旬に実施予定。講師は図書館スタッフが担当する。

(4) 図書展示

30 周年をテーマにした児童書の展示。夏休み期間を予定。

(5) 折り紙作品展示

ギャラリーで 11 月下旬に実施予定。

第 3 次長久手市子ども読書活動推進計画第 1 回策定委員会

1 日時・場所

令和 4 年 5 月 1 8 日（水）午後 2 時から 3 時 1 5 分まで
中央図書館 2 階 AV ルーム

2 議題

(1) 委員長・副委員長の選出

委員長には委員の互選により愛知淑徳大学福祉貢献学部教授の青木文美教授、副委員長は委員長の指名により愛知淑徳大学講師の中西由香里氏となった。

(2) 第 2 次長久手市子ども読書活動推進計画の進捗状況

ブックスタート事業等、諸事業についての説明をした。事業評価シートを作成し、第 2 次計画から第 3 次計画へ継続する事業 2 7 項目、縮小 3 項目、廃止 9 項目を委員へ提案し、協議した。

(3) 第 3 次長久手市子ども読書活動推進計画について

令和 3 年度に実施したアンケート（保護者、小学 2、4、6 年生、中学 2 年生、読み聞かせボランティアグループ）の回収状況等の説明を行った。
6 月 2 6 日（日）、7 月 1 7 日（日）開催のワークショップについての説明も行った。

第3次長久手市子ども読書活動推進計画策定委員会 委員名簿

令和4年5月18日から令和5年3月31日まで

	職名	氏名	役職等	備考
1	委員長	青木 文美	学識経験者	愛知淑徳大学 福祉貢献学部 教授 専門：児童文学
2	副委員長	中西 由香里	学識経験者	愛知淑徳大学 講師
3	委員	竹内 双葉	小中学校 司書教諭	南小学校司書教諭
4	委員	高橋 浩子	保育園関係者	子ども未来課(指導保育士)
5	委員	鈴木 節子	中央図書館読 み聞かせボラ ンティア	図書館での経験年数が10年以上のボランティア
6	委員	鈴木 直美	市民公募	
7	委員	山田 真理子	市民公募	

第3次長久手市子ども読書活動推進計画策定のための

ワークショップ

1 日時

6月26日（日） 午前10時から正午まで

2 参加者

12名（欠席 4名）

3 内容

図書館の概要について説明後、2グループに分かれて各テーマについて意見を出し合い、発表した。

第1回目テーマ：「子どもと読書」家庭や地域でできること

A班テーマ：子どもと本をつなぐには

～子どもの周りの年長者ができることってなんだろう～

B班テーマ：施設で本と親しむには

～本との出会いが楽しくなるにはどんな工夫ができるだろう～

4 まとめ

生涯にわたって本の楽しさに触れない人もいるなかで、子どもと読書をつなぐために必要なことは、子どもたちが本を読んだり聞いたりして楽しいと思える時間を過ごせるかどうか。そのためには、地域の人たちである年長者が子どもたちと関わりながら本をすすめること、また公共施設等に本が置いてある環境を作ることが必要である。地域の人たちを巻き込んだ読書環境作りが子どもと読書をつなぐために必要である。

5 その他

2回目は7月17日（日）に開催予定。テーマは「子どもに読書の楽しさを伝えるには」

サウンディング型市場調査実施について

1 目的

長久手市中央図書館について、利用拡大や更なる利活用を目指し、新たに民間事業者による運営手法として指定管理者制度の導入を検討する中で、市場性の有無や民間事業者の意向等を把握するほか、サービス向上や施設全体の運営効率化等につながる意見、提案を期待して実施する。

2 サウンディング型市場調査とは

事業検討の段階で、公募による「対話」を通じて事業者や市場の動向を調査すること。行政側は事業の実現可能性や、市場として参入しやすい条件、活用に向けたアイデアなどを把握でき、また事業者側は行政の運営方針や考え方を事前に確認できるほか、事業者としての考え方を直接伝えることができるなどの利点がある。

3 スケジュール

- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 現地見学会・説明会 | 令和4年7月12日（火） |
| (2) 対話の実施 | 令和4年8月30日（火）～8月31日（水） |
| (3) 実施結果概要の公表 | 令和4年10月以降を予定 |